

## 自然観察おもしろ講座

### 桜を たのしもう!

小島紀彦（我孫子市）

日時：2022年4月6日（水）

場所：21世紀の森と広場

講師：小島・渋谷、三嶋

今年度最初の21世紀の森と広場パークセンター主催のおもしろ講座が開かれた。タイトルは「桜をたのしもう！」とし、サブタイトルには桜の基礎知識を深めれば、お花見が一段と楽しめますよとして座学と園内の観察を行いました。実は2年前の今頃にこの催しを計画していましたが、2020年の2月頃より新型コロナの感染が拡がり、中止になり、昨年も同じく中止になったもので、2年ぶりに実施になったものです。今年は3月末から4月の初めは桜は開花したが、菜種梅雨で花冷えの日もあり、今日は桜が見られるか気になっていましたが、有難い事に朝から気温が上昇して、曇りから晴れ間となり、座学を1時間と屋外での桜の花を見て歩くのが1時間と充実した催しになりました。

座学では、①サクラについて ②桜の分類、形態 ③桜の自然種 ④染井吉野 ⑤里桜 ⑥桜の名所に分けて、60枚ほどの写真を中心とした、スライドを見て貰った。

サクラの形態では花が五弁で萼片と萼筒があり、雌しべが一本、雄しべが多数ある両性花である基本的な事、サクラの特徴の葉や葉柄に蜜線があること、サクラは自家不和合性で自分の遺伝子の花粉は受粉しないこと、夏にできた新しい芽は一定の寒さを感じてから芽が開くという休眠打破の性質があるなどの話もした。サクラの見分け方では花の咲く時期、色、大きさ、萼片・萼筒の形、毛の有無、花びらの数、萼片の鋸歯、などが要素になると説明。サクラの自生種については、ヤマザクラ、カスミザクラ、オオヤマザクラ、オオシマザクラ、エドヒガン、チョウジザクラ、ミヤマザクラ、マメザクラ、タカネザクラ、カンヒザクラ、クマノザクラの計11種があるとの説明とスライドでそれぞれの種を見て貰った。

座学を終わってから、園内の桜について、まずはパークセンターの横にある染井吉野を見た（終わりかけだったが、まだ花が見られた）。その後はみどりの里にある大きな木のオオシマザクラ、ヤマザクラ、カスミザクラ（まだ蕾の状態）を見て、その奥にあった八重紅枝垂れの花を見た。サクラではないが、桃とハナモモが咲いていた。

野草園に場所を変え。オオヤマザクラが上方で赤く開いた花があり、ウワミズザクラには穂になりかけの花の蕾を見た、イヌザクラもあったが花は未だまだ。

サクラの講義は花があるかないかで講義の中身と価値が大きく変わってくる難しさがあるが、幸いな事に今日は何種類かのサクラの花が見られた事、天気に恵まれた事が良かった。熱心にスライドを見て貰い、それなりの価値を感じて貰えたものと思っており、担当者として、無事に講座を終えられホットしています。ご協力の関係者の皆さんに感謝いたします。



オオシマザクラの花は白色5弁で多弁を観察